

主催：日本福祉大学九条の会

2017年度

秋の平和講演会

in日本福祉大学学園祭

入場無料

11月4日(土) 10:30~12:30
日本福祉大学 美浜キャンパス 401教室

2015年9月19日未明、安保関連法（戦争法）が強行採決されてから早2年が経ちました。10月22日には、安倍首相により解散された衆議院の選挙がおこなわれます。

選挙の結果については、現在のところ予測困難ですが、現在の与党あるいは、あらたに結成された小池東京都知事を中心とした新党のどちらが政権に影響力を持つにしても、改憲〔憲法に自衛隊を明記する〕へ向けての動きが、遅かれ早かれ具体化、本格化していくことが必至です。また、平和問題だけではなく、日本には考えるべき課題が多数存在します。原発問題、労働者の働き方の問題、高齢社会をめぐる問題、保育問題、経済格差の増大と貧困問題、高学費と奨学金問題などなど・・・。

それらの社会問題は、それぞれがバラバラに存在しているわけではなく、また学生の皆さんが大学で学んでいることとも密接に関係しています。今回は、プロフィールにもあるように、憲法のことだけでなく、若者の非正規雇用や沖縄の基地問題にも取り組んでこられた佐藤直子さんをお招きし、焦点となっている憲法改正の問題について、皆さんと一緒に考えたいと思います。ぜひ、教職員、学生などを問わず、お越しください。



東京新聞（中日新聞東京本社）論説委員兼編集委員

佐藤 直子氏

講演テーマ

「わたしのそばにある憲法」

佐藤 直子氏プロフィール

1991年入社。社会部、特報部の記者として少年事件や教育、障害者福祉、貧困問題、戦争体験などの取材に取り組む。現在は人権の観点から社説を執筆している。連載「記憶～新聞記者が受け継ぐ戦争」を書籍化した「あの戦争を伝えたい」（東京新聞社会部編、岩波書店）で第12回平和・協同ジャーナリスト基金賞。08年の貧困問題報道で第1回貧困ジャーナリズム賞。共著「ジャーナリズムの条件」「イラク『人質』事件と自己責任論」「未来に語り継ぐ戦争」など。

連絡先： 向井直紀 0569-87-5730(日本福祉大学付属高校)